

技術・家庭科（家庭分野） 学習指導案

題材名「幼児の生活と家族」〔学指要領：A(2)〕

令和〇年〇月〇日（〇） 第〇校時 〇〇〇〇教室
 〇〇立〇〇中学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 題材の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・幼児の発達と生活の特徴、子供が育つ環境としての家族の役割、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。	・幼児の成長には周囲の適切な関わりが必要であることに気付いている生徒は多いが、幼児と関わる際の安全・衛生面の配慮を理解できるようにする必要もある。
思考力、判断力、表現力等	・幼児との関わり方について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	・既習内容や生活経験を基に家族・家庭や地域における生活を見つめ、解決すべき課題を設定することはできるが、解決策を構想して学習計画を立てることは十分にできてはいない。
学びに向かう力、人間性等	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。	・家族の一員として、中学生としてできる家庭の仕事を行い、家族とのつながりを深める喜びや楽しさを感じている生徒は多いが、地域の一員として様々な世代の人と関わったり、地域の活動に積極的に参加しようとしたりする生徒は少ない。

2 評価規準

知識・技能	①幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ②幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。
思考・判断・表現	①幼児との関わり方について、問題を見いだして課題を設定している。 ②幼児との関わり方について考え、工夫している。 ③幼児との関わり方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④幼児との関わり方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	①幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ②幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③よりよい家庭生活の実現に向けて、幼児との関わり方を工夫し創造し、実践しようとしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画（全10時間：本時第1時） ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
家	・家族にインタビューをし、自分の成長を振り返る。(あ)			
1	・自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、幼児との関わりを考え、課題を立てる。(い) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 題材の課題 幼児も保護者も安心できるように、中学生として地域の幼児とどのように接するとよいのだろう。 </div>		①	
2	・課題を解決するための学習計画を立てる。(い)		②	
3,4	・幼児を撮影した動画を基に、幼児の心身の発達の特徴について話し合う。(あ)(い)(a)	①		①
5	・幼児と中学生の生活時間を比較し、幼児の生活習慣や、幼児にとっての家族の役割について話し合う。(い)(a)			②
6,7	・幼児の遊びの意義や幼児との関わり方を調べ、ふれあい体験計画を立てる。(い)(a)	②		③
8	・模擬ふれあい体験を行い、計画を見直す。(い)(う)		③	
9	・幼稚園で、幼児とのふれあい体験をする。	②	④	
10	・幼児と関わった感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。(あ)			

*活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート (い) Google Jamboard (う) Zoom

*活用するコンテンツ等：(a) 幼児の様子を撮影した動画

II 本時の学習（1／10）

1 ねらい 自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、中学生と幼児との関わりを考えることを通して、幼児との関わり方について問題を見いだし、課題を設定することができる。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕	主な発問 ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 事前アンケートの結果を基に、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p><めあて> 自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、中学生と幼児の関わりを考え、課題を立てよう。</p> <p>S：幼児をもつ地域の保護者の思いに応えるには、自分たちは幼児とどのように関わるとよいのかな。</p>	<p>○幼児との関わり方について問題を見い出して課題を設定するという目的意識をもつことができるように、地域の幼児との関わりの有無や、幼児との関わりに対する思いを問いかける。</p> <p>○幼児をもつ地域の保護者の思いを捉えられるように、大型モニターに提示した事前アンケートの結果から、地域の保護者が中学生に求めていることを読み取るよう促す。 【★提示・配布】</p>
<p>2 自分の成長を振り返って感じたことや考えたことを話し合い、問題を見い出す。（20分） 【★再生】</p> <p>「中学生になるまでに、自分たちの成長や生活には、どのような人たちが関わってきたのでしょうか。」</p> <p>S：小さい頃はけがをすると、家族だけでなく近所の中学生も、早くよくなるようにと優しく声をかけてくれたよ。自分がしてもらったように、近所の幼児に優しく声をかけられるようになりたいな。</p> <p>S：でも、友達が言うように、幼児が泣いた時などの対処が分からなくて不安もあるな。</p>	<p>○家族だけでなく多くの人に支えられて成長してきたことや、これからは自分たちも地域の幼児の成長を支える側になることに気付けるように、家庭で家族にインタビューをして端末に保存した自分の成長の振り返りや、そこに関わった人たちをグループで伝え合うよう促す。</p> <p>○幼児との関わり方について問題を見い出すことができるように、今の自分にできること、まだできないこと、できるようになりたいことなどを視点に、話し合いで感じたり考えたりしたことを学習プリントに記述するよう助言する。</p>
<p>3 中学生と幼児との関わりを考え、課題を立てる。（20分） 【★共同編集】</p> <p>「中学生として、幼児とどのように関わられるようになりたいですか。」</p> <p>S：幼児だけでなく、幼児の保護者も、中学生の自分たちも、笑顔になるような関わりができるようになりたい。</p> <p><課題> 幼児も保護者も安心できるように、中学生として地域の幼児とどのように接するとよいのだろう。</p>	<p>○見い出した問題を共有し、自分たちが追究していく課題を検討できるように、幼児との関わりについて、自分たちができるようになりたいことをジャムボードに入力するよう促す。【★一覧表示】</p> <p>○解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりを明確にして課題を設定できるように、入力内容の共通点や相違点に着目するよう助言する。</p> <p>◆評価項目（思①） ジャムボードや学習プリントの記述内容、発言から、「幼児との関わり方について問題を見い出して課題を設定しているか」を評価する。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。（5分）【★保存・提出】</p> <p>S：これまで、幼児だけでなく、地域の人たちとどのように関わるかを考えてこなかったけれど、これからは地域を支える一員となれるように、自分たち中学生にできる幼児との関わり方を考えていきたい。</p> <p><振り返り> S：小さい頃の思い出を友達と話したら、自分が意識していなかった人たちにも支えられて成長してきたことに気付くことができた。これから自分たち中学生も、支える側になって地域の幼児と関わっていくには、もっと幼児のことを知らないといけない。次回は、幼児と関わるために知らなければいけないことをみんなで話し合っ、課題を解決するための学習計画を決めていきたい。</p>	<p>○家庭科の学び方が身に付いていることを実感できるように、生活の中から問題を見い出して課題を設定できたことを称賛する。</p> <p>○次時以降の活動の見通しがもてるように、分かったことやできたこと、今後取り組みたいことを視点に振り返りをするよう促す。</p>